

授業科目	保育の計画と評価(教育課程含む)(CD クラス)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH11208J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP4-2 DP5-2			
担当教員	村上 里絵							
授業概要	1. 乳幼児期における教育課程・保育課程の意義について解説する。 2. 教育・保育課程から指導計画を考える上で必要なことを様々な事例をもとに考えていく。 3. 教育・保育課程の編成から長期の指導計画作成の基礎を培う。 4. 指導計画を実践し、振り返り、次の計画へとつなぐP(Plan)・D(Do)・C(Check)・A(Action)のサイクルを事例をもとに解説し、理解を促す。							
学生が達成すべき行動目標	1. 保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 2. 保育・教育課程の編成から長期の指導計画を作成することができる。 3. 全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 4. 子ども理解に基づく計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造を捉え、理解する。 5. 教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。 6. 指導要録・児童要録について、その必要性を理解し意義を説明することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	60	0	0	0	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)		30	0	0		20	50	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)		30	0	0		20	50	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
保育課程・教育課程を編成し、指導計画を作成することができる。また、指導計画を実践し、保育を振り返るPDCAサイクルを理解し説明することができる。指導要録・児童要録について理解する。				保育課程、教育課程および指導計画はなぜ必要かがわかり、実際に指導計画を立てることができる。また、その筋道を理解する。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	教育・保育課程の基本原則	オリエンテーション	なし	
2	教育・保育課程の変遷	講義	予習：次単元を読んでくる	20
3	幼稚園、幼保連携型認定こども園の教育課程：法律に示されている目的と事例を基に考察する	講義	予習：次単元を読んでくる	20
4	保育所の保育課程：保育課程の法的要件と事例から考察する	講義	予習：次単元を読んでくる	20
5	幼稚園・保育所の生活と一人一人の乳幼児の発達理解	講義	予習：次単元を読んでくる	20
6	子どもの主体性を尊重する保育を行うための指導計画	講義	予習：次単元を読んでくる	20
7	指導計画と5領域の関係	講義	予習：次単元を読んでくる	20
8	指導計画と延長保育、預かり保育	講義	予習：次単元を読んでくる	20
9	指導計画と小学校との連携、子育て支援	講義&演習	予習：次単元を読んでくる	30
10	教育課程の編成から長期指導計画へ	講義&演習	予習：次単元を読んでくる	30
11	短期の指導計画の作成	講義&演習	予習：次単元を読んでくる	30
12	指導計画の発表①年少～年中児を対象とした指導計画の実践と振り返り	講義&演習	予習：次単元を読んでくる	30
13	指導計画の発表②年長児を対象とした指導計画の実践と振り返り	講義&演習	予習：次単元を読んでくる	30
14	保育課程・教育課程のPDCAサイクル	講義	予習：次単元を読んでくる	20
15	指導要録、児童要録について、まとめ	講義	予習：次単元を読んでくる	20
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>1. 他教科での学びを、保育課程・教育課程論の中で生かすために、学習した内容や資料をきちんと整理し、まとめておくこと。</p> <p>2. 実習先での子ども観察、保育の読みとりをしっかりと行うこと。</p> <p>3. 子どもの遊びに興味関心を持って調べること。</p>			
テキスト	柴崎正行・戸田雅美・増田まゆみ編「保育課程・教育課程総論」ミネルヴァ書房			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>松村和子他「教育課程・保育課程を学ぶ 子どもの幸せをめざす保育実践のために」ななみ書房 2012年</p> <p>神長美津子／塩谷香「わかりやすい！幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録記入ハンドブック」ぎょうせい 2009年</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>毎回、次授業の内容及び準備する資料についてお知らせします。予習することで、講義内容がより身に付くことと思います。グループワークについては、その都度テーマや方向性を提示します。グループ全員が主体的に取り組む、それぞれの力が発揮できるよう工夫、協力して行ってください。この講義で学んだことが、実習先の子どもの姿や保育者の指導計画、環境構成、援助、配慮事項などと結びつくことを願っています。</p>			
達成度評価に関するコメント	小テスト・レポート(60%)、授業貢献度(40%)			